

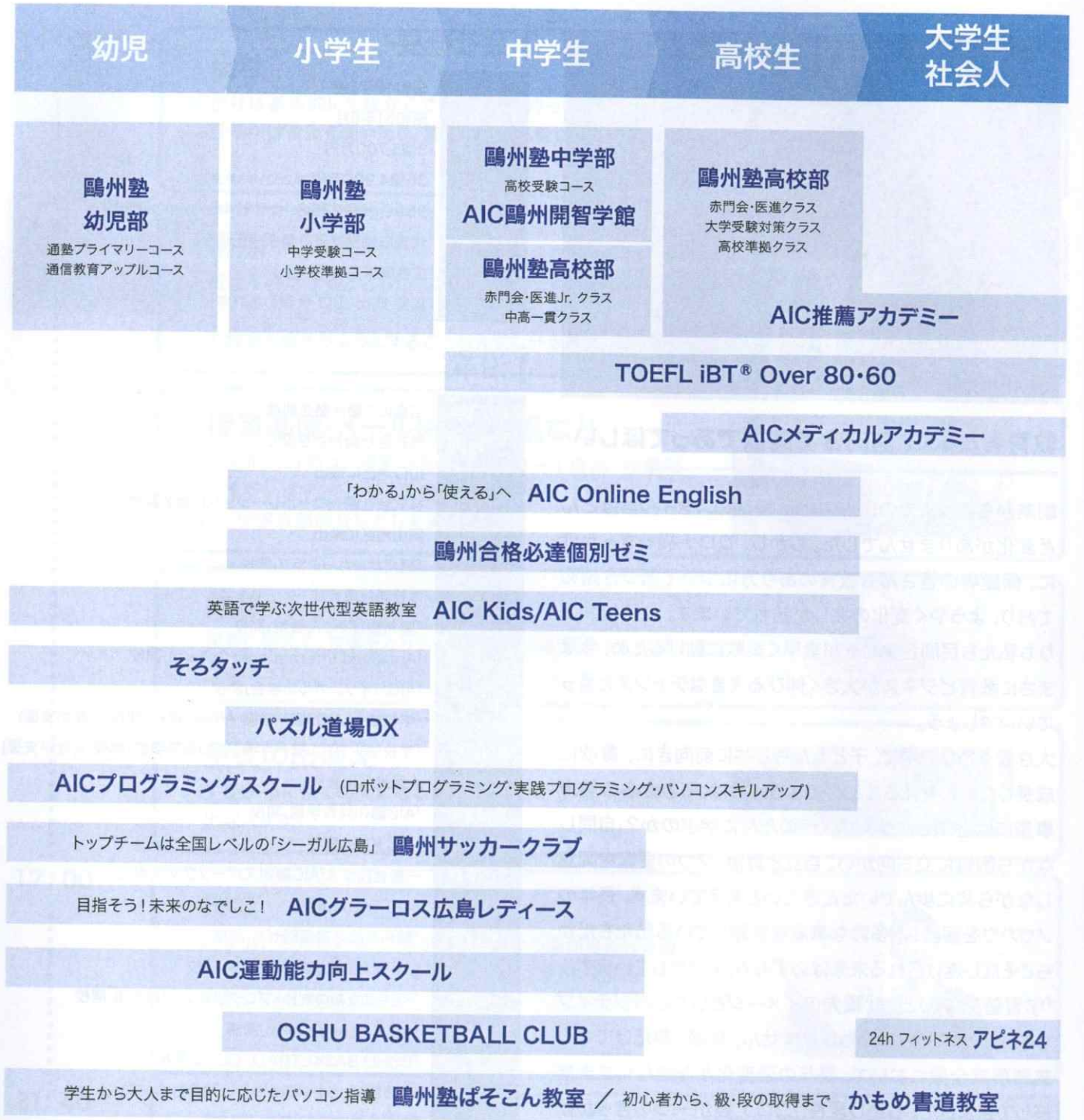
学ぶ楽しさを伝えたい

2023年度 会社案内



株式会社AICエデュケーション



鷗州は「人生をプロデュースする総合教育機関」です。



<幼稚園・学校運営・学校支援>

「英語を学ぶ」ではなく 「英語で学ぶ」 AIC バイリンガル 幼稚園	「国際社会で活躍する グローバルリーダー」を目指す AIC World College 広島 初等部 <small>2022年4月に京都 初等部が開校予定</small>	西日本第一号の国際バカロレア認定一条校 AICJ中学・高等学校	
		Auckland International College	



〈代表取締役社長〉
桑原 克己

教育者として、前向きで貪欲であってほしい

創業からこれまでの50年の間、授業のスタイルはほとんど変化がありませんでした。しかし、コロナ禍をきっかけに、保護者の皆さんも教育のあり方について気づき始めており、ようやく変化の兆しが訪れています。公的機関よりも私たち民間企業こそが素早く柔軟に動けるため、今はまさに教育ビジネスが大きく伸びる大きなチャンスと言っているでしょう。

大きなうねりの中で、子どもたちと共に前向きに、貪欲に成長したいと考えることができる人材は、これからの教育事業には必須となります。「何のために学ぶのか？」自問しながら困難に立ち向かい、自立と貢献、2つの要素を両立しながら共に歩んでいただきたいと思います。長年のノウハウを蓄積し、多彩な事業を掌握している私たちだからこそ成し遂げられる未来は必ずある、と自負しています。「学習塾」というと、就職先のイメージとしてはポジティブな感情が湧きづらいかもしれません。実際、塾だけでなく教育事業全般において、長年の間変化が起きないまま推移してきました。しかし現在、コロナ禍が一つのきっかけとなって変革期が訪れており、「教育ビジネス」がさまざまに展開、ベンチャーも台頭し、今後伸びしろの大きさが期待されています。

当社は長年の「鷗州塾」のノウハウに加えて多彩な事業を展開、「AIC」ブランドとして確立させているため、業界ではアドバンテージがあります。そうした基盤に加えて、柔軟な対応力とスピードで成長を続けてまいりました。次世代を担う原点となる場所づくり。それが私たちの使命であり、目指すべき信念だと考えています。

会社概要

創業	昭和48年2月
設立	昭和61年6月
資本金	3億5,700万円
売上高	36億4,900万円 ※2021年3月決算
従業員数	389名(男性275名、女性114名) ※2022年2月時点
代表者	代表取締役社長 桑原 克己
本社	広島県広島市
校舎	広島・岡山・山口・大阪の各府県



沿革

1973年	広島にて鷗州塾を創業
1986年	株式会社鷗州社を設立
1989年	山口地区に進出
1991年	株式会社鷗州コーポレーションに社名変更
1995年	岡山地区に進出 「鷗州サッカークラブ」開校
1996年	本社新社屋完成
2000年	「鷗州塾ばそこん教室」開校
2003年	「Auckland International College」開校
2005年	「AICバイリンガル幼稚園」開校
2006年	「学校法人 AICJ鷗州学園 AICJ中学校」開校(当社が支援)
2007年	「学校法人 AICJ鷗州学園 AICJ高等学校」開校(当社が支援)
2011年	大阪地区に進出
2012年	「AIC鷗州開智学館」開校
2014年	「AIC Kids」開校
2015年	一般社団法人「AIC鷗州スポーツクラブ」設立
2016年	「AIC Teens」開校
2017年	「鷗州合格必達個別ゼミ」開校 脳も鍛える健康教室「アビネ」開校
2018年	子どものための制作×プログラミング「ロボ団」開校
2019年	「AIC Online English」開講 「OSHU BASKETBALL CLUB」開校 24時間フィットネスジム「アビネ24」オープン 「かもめ書道教室」開校
2020年	株式会社AICエデュケーションに社名変更 「AICオンライン@HOME」開校 「AICメディカルアカデミー」開校
2021年	「AIC World College 広島 初等部」開校
2022年	「AIC World College 京都 初等部」4月開校予定



14:00

出社

出社は基本的に午後からです。余裕を持って出社します。通勤中は音楽を聞いたり、読書ができる貴重な時間です。



掃除

教室を掃除するところからスタートです。換気や消毒を行い、自分自身や生徒の感染症を防ぎます。生徒が気持ちよく教室を使えるようにすることも大切な仕事です。



授業準備・メール確認・会議など

授業前の時間は、授業準備や業務のメール確認、会議などを行います。その他、入塾面談・手続きや、時期によっては、保護者懇談会なども実施します。



休憩

授業に備えて、食事をとります。おすすめは「麗ちゃん」のお好み焼き！



生徒の出迎え

生徒が塾に来る時間になると、校舎の前に立ち、元気良く出迎えます！



17:00

授業

授業は、生徒の笑顔や「分かった！」という顔が見られる最高の時間です。一番エネルギーを使いますが、その分、毎日がやりがいを感じます！



21:40

欠席者対応・片付け

授業を終えたら、欠席した生徒へ保護者連絡ツールや電話で連絡をします。授業教室・教務室の片付けをすれば、本日の勤務は終了！



22:00

退社

勤務を終えたら退社します。健康のためにも、遅い時間にならないよう、すぐに退社しましょう！お疲れさまでした！



入社後のキャリアビジョン

大きく分けて2つの道があります。校舎の管理・運営や地区の社員をまとめる「校舎のマネジメント」、教科の専門知識を深め、教材・模試の作成、新設講座の提案などを行う「教務のプロ」です。

校舎のマネジメント

UP!

地区統括
地区の責任者

校舎長
校舎の責任者

教師

地区統括 濱下 紀亮

これまでのキャリア	仕事内容
1年目 ~ 小中学部理系教師	① 時間割の作成
2年目 ~ 校舎管理者	② 校舎掲示物の作成
3年目 ~ 校舎長	③ 担当校舎の数値管理
11年目 ~ 地区統括	④ 部下の育成

やりがい

生徒の成績向上の手助けができること、「校舎の数値管理」という責任ある仕事を任せられることです。生徒により良い学習環境を提供するためには、さまざまな数値目標を達成しなければなりません。各校舎の数値は校舎長の手腕を表しています。「目標を達成できる校舎=生徒に一番貢献できている校舎」ということを意識して、日々の業務を遂行しています。

教務のプロ

UP!

部課長
学部/課の責任者

教科主事
教科の責任者

教科副主事

教師

高校部社会科主事 三好 勇輔

これまでのキャリア	仕事内容
1年目 ~ 小中学部文系教師	① カリキュラムの作成
3年目 ~ 小学部選抜系文系教師	② 講座設置校舎の提案
4年目 ~ 高校部社会科教師	③ 担当教科の数値管理
10年目 ~ 高校部社会科主事	④ 教材等の作成

やりがい

主事であると同時に、日本史・世界史を生徒に教える教師でもあります。教師として生徒に一番近いところにいる分、教材や講座についての改善や提案しやすい環境にあります。また、生徒のことを考えて作った教材や講座で、「成績が上がった」「受験で結果を出せた」様子を間近で見られる点は、主事としての醍醐味だと思います。

社員紹介 (2022年2月時点)

塾部門勤務
高校部教師
中島 則紀
大阪大学
工学部出身



私自身、高校生の時に鷗州塾に通っていました。毎回の授業が感動の連続なので、塾の授業が楽しみです。私自身も「人を感動させられる授業がしたい!」と思い、迷わずAICエデュケーションに入社しました。生徒が志望校に合格したときに喜びを感じるのとは違って、授業に全員出席してくれるのもうれしいです。皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています!

塾部門勤務
幼児部教師
林 未来
福岡県立大学
人間社会学部出身



幼児部の仕事は、授業はもちろんのこと、模試や授業教材の作成なども行います。子ども自身が小さな成功体験を積み重ね、やがて大きな自信を持てるように接し方や声かけを工夫しています。現在は、産休・育休制度を活用しながら、2人の子どもを育てています。個々の働き方に柔軟に対応し、無理なく働ける環境が整っていることは、会社の大きな魅力です。生徒にも自身の子どもにも元気をもらいながら、日々仕事に邁進しています。

本社勤務
総務部
永野 武
慶應義塾大学
理工学部出身



中学生のころに鷗州塾に通っていました。先生たちの熱い思いに、どこか冷めた大人たちばかりの中、「どうしてこの人たちだけ、こころ熱いのか」と不思議でした。それから数年ののち、驚異的な成長を遂げた鷗州を目の当たりにした時に、当時の記憶がよみがえるとともに「私もこの大きな夢に自分の人生をかけてみよう」という底知れぬ熱い思いが胸に込み上げてきました。これが私の入社動機です。

本社勤務
グローバル教育事業本部
水船 健太
広島大学
教育学部出身



学校や塾向けのオンライン型英会話教材の企画・制作・運営などを担当しています。教師職として入社したので、現在のように、毎日海外のスタッフと連携を取りながら商品の作成や運営を担当することになるとは、想像もしていませんでした。毎日やりがいを感じながら、楽しく働いています。現在、学校における英語教育の過渡期で、新しい教育の形に対する「正解」がまだまだ固まっていないように思います。新しいものを作ることは決して楽なことばかりではありません。しかし、自分が学んできた知識や、新たに調べた情報を組み合わせ、生徒にとって「より良い形」を模索する過程はとても刺激的です。

塾部門勤務
小中学部教師
野村 光彦
上智大学
理工学部出身



数多くある学習塾の中で鷗州塾を選んだのは、私自身が中・高と通っており、当時の先生への憧れと、心からお世話になったという感謝の気持ちがあったからです。入社からこれまで、地元山口県内のいろいろな校舎で小中学生の理系科目を担当してきました。メインの仕事はもちろん、授業と進路指導で「生徒のために少しでも何かしたい!」という思いは、多くの行動のきっかけとなります。生徒が目標達成したときの喜びは何ものにも代えがたく、たくさんのエネルギーや感動をもらえます。自分の本気の授業をたくさんの生徒に受けてもらえるよう日々試行錯誤しながら、充実した教師生活を送っています。

学校部門勤務
数学教師
平岩 尚子
島根大学
教育学部出身



中学生時代、鷗州塾で自分の学習の基盤を作っていました。勉強面でもそれ以外でも、悩みがあると優しく聞いてくださる先生方のようになれればと思い、入社しました。入社5年目は地元広島に戻り、校舎管理者もさせていただきました。6年目からはAIC「中学・高等学校」で勤務をさせていただき、数学と道徳を指導しています。複数の教科で生徒と関わることで、生徒の良い面をさまざまな方面から見つけることができている。生徒にとっては長い人生の中のほんの6年という短い期間ではありますが、そこに関わらせていただくことができ、とても楽しく仕事をさせていただいています。

社員アンケート

「教師をしていてうれしかったこと」TOP3

- 第1位 生徒からの感謝の言葉(30.1%)
- 第2位 生徒の志望校合格(22.8%)
- 第3位 卒業生とのつながり(16.0%)

第4位は、「生徒からの手紙や寄せ書き(13.1%)」でした。やはり、ダイレクトに反応が返ってくることがこの仕事の醍醐味です。卒業生も校舎に近況報告に来てくれたり、普通通っていた校舎で後輩に向けて話をしてくれたり、就職先として鷗州を選んでくれたり、卒業しても鷗州に愛着を持ち、つながりを持ってくれるのは本当にうれしいことです。その他、「「家族ともども先生のファンです!」と言ってもらった」「就活を始めた昔の教え子から、鷗州に入りたいと相談を受けた」「学校行事の見学に行ったら、教え子たちが駆け寄ってきた」「昔の教え子が結婚式に招待してくれた」など、涙が出そうな回答もありました。

「大学時代に熱中したこと」TOP3

- 第1位 アルバイト(36.0%)
- 第2位 部活・サークル(31.5%)
- 第3位 音楽活動(8.0%)

第4位は「勉強(6.5%)」が続きます。その他、ボランティアや学園祭の運営など、人とのつながりが強い活動を挙げた人で80%以上を占めました。人と接することは、教師に必要なスキルを磨くのに役立っているのかもしれない。

「学生時代の部活」TOP3

- 第1位 サッカー(12.3%)
- 第2位 テニス(11.9%)
- 第3位 バスケットボール(11.5%)

第4位以降は、「吹奏楽(9.9%)」「バレーボール(8.3%)」「野球(7.9%)」となっています。なんと、TOP10のうち8つが運動部です(笑)。

「休日の過ごし方」TOP3

- 第1位 買い物(12.8%)
- 第2位 家族サービス(12.2%)
- 第3位 趣味(11.9%)

第4位以降は、「旅行・ドライブ(11.6%)」「勉強(11.0%)」「スポーツ(9.6%)」「同僚や友達と遊ぶ(7.8%)」が続きます。みんなアグレッシブですね!

「入社して一番高かった買い物」TOP3

- 第1位 マイカー(40.6%)
- 第2位 家(27.8%)
- 第3位 旅行(7.5%)

「結婚指輪(3.2%)」という回答も!

AICバイリンガル幼稚舎

We nurture future global leaders.



AICバイリンガル幼稚舎では、従来の詰め込み教育ではなく、身近なことを通じて英語を自然に身につけていくことを大切にしています。子どもたちは体を動かしながら全身で英語を表現するほか、本を読んだり、発言したり、音楽・アート・ゲームなどを通して英語の世界に入っていきます。それを繰り返すことによって、さまざまな形から英語に触れ、自然とそれを使い、表現できるようになります。

さらにAICバイリンガル幼稚舎では、母国語も大切にしたいとの思いから、日本語による授業も重視した本格的なバイリンガル教育を目指しています。



AICJ中学・高等学校

AICJとは「日本における国際社会のための学校」
Academy for the International Community in Japan



AICJ宣言 一本校が目指す5つのゴール

- 1 AICJは、世界の名門進学校を目指します。
- 2 AICJは、バイリンガルに育てます。
- 3 AICJは、日本を含む世界の名門大学への道を開きます。
- 4 AICJは、母国につながるアイデンティティを大切にします。
- 5 AICJは、グローバル社会のリーダーに育てます。



AIC World College 広島 初等部



AIC World College 広島 初等部は、「幼児期に育み始めた英語力・探究心・主体性をさらに大きく伸ばしたい」「英語での教育を継続したい」、現状の初等教育では実現することが難しい「日英バイリンガルの教育を受けさせたい」と願う保護者のために、そして、無限の可能性を持つ子どもたちのために進化し続けます。

※2022年春、AIC World College 京都 初等部が開校します。

教育の特色

- 国際バカロレア(IB)初等教育プログラム(PYP)のカリキュラムを導入※
 - 「英語を学ぶ」ではなく「英語で学ぶ」 ※2021年10月時点:PYP候補校
 - 英語・日本語のバイリンガル教育
 - 自己肯定感を高める教育
 - ICTを積極的に活用した教育
 - 理数・アート(STEAM)に注力
 - 「一方的に教える教育」ではなく「個の能力を引き出す教育」
- 上記を踏まえながら教科融合的に学習していきます。



Auckland International College

NZから、
そしてAICから、
世界のトップ大学
を目指してみませんか？



AICNZを選ぶ3つの理由

- ①高いアカデミックレベル
国際バカロレアに精通しているプロ教師による高水準のアカデミックプログラム。
- ②進学カウンセラーによる全面サポート
専任の大学進学カウンセラーが常駐し、生徒一人ひとりをサポートします。
- ③安全な国「ニュージーランド」での学生生活
AICは、世界でも有数の「治安が良い国」として知られるニュージーランドを代表する都市オークランドに位置しています。



AICオンラインが求める人材

AIC World College 日本校

Young people who will become global leaders.

～ 未来のリーダーを育てる教育機関 ～

「グローバルリーダー」を育てる教育機関として、AICオンラインは、世界中から優秀な人材を募集しています。AICオンラインは、世界中から優秀な人材を募集しています。AICオンラインは、世界中から優秀な人材を募集しています。

～ 未来のリーダーを育てる教育機関 ～

「グローバルリーダー」を育てる教育機関として、AICオンラインは、世界中から優秀な人材を募集しています。AICオンラインは、世界中から優秀な人材を募集しています。AICオンラインは、世界中から優秀な人材を募集しています。

〒730-0037 広島県広島市中区中町1-1
株式会社AICエデュケーション 人事・採用課
【TEL】082-245-4119 【E-mail】recruit@oshu.co.jp

AIC鷗州グループ

